

## 令和4年度第3回鳥取県協働連携会議の概要について

- ・日 時 令和4年3月22日（水）午前10時30分～11時40分
- ・場 所 県立図書館2階小研修室 ※WEB会議
- ・出席委員 委員11名中8名出席  
事務局：行財政改革推進課、他関係課

### 【議題】民間提案事業サポートデスクに関すること

#### 【会議の概要】

#### 議題 民間提案事業サポートデスクに関すること

民間提案事業サポートデスクにおいて、令和3年4月1日から令和5年3月13日までに対応した提案・相談案件（56件）のうち、提案者と担当課で検討・実施し、対応方針案や対応結果が出た案件（対応中1件、提案実現・一部実現4件、断念1件）について検証を行った。

#### （1）対応中の案件（1件）

##### ①企業の資源・ノウハウ等を活用した自治体との連携

###### ＜提案内容＞

- ・県産品の流通・販売支援、教育の推進、災害時の支援など、自社のツール・ノウハウを活かして県と連携したい。

###### ＜対応方針案・対応結果＞

- ・ECを始めることができる提案者提供のツールに関して、倉吉未来中心で県内事業者等が参加する活用セミナーを開催した。
- ・今後も教育の推進や災害時の支援について、連携を検討していく。

###### ＜委員からの主な意見＞

- ・提案者提供のツールというのは、通販等とは何が異なるのか。  
⇒いわゆるフリーマーケットのような仕組みになっており、普通の通販とは異なる。現在、楽天や47クラブ、鳥取県物産協会を通じたEC化支援を行っているが、そのうちの1つのツールとして捉えていただければと思う。

#### （2）提案実現・一部実現の案件（4件）

##### ①農業に関わる人々を応援し持続可能な未来を考える「農プロジェクト」と県との連携

###### ＜提案内容＞

- ・農業分野に焦点をあてた多面的な編集記事や事業、企画などを展開する「農プロジェクト」と、農業が盛んな鳥取県との連携により、農村と都市・地方と都市をつなぐ取組を進め、農業や地方の活性化を図りたい。

###### ＜対応方針案・対応結果＞

- ・協定に基づく農村と都市の交流促進の一環として、「とっとりジビエ体験ツアー」を実施。参加した関西からの参加者から好評を得た。
- ・協定に基づく農山村からの都市への情報発信の取組として、「農山村を支える新たな力」をテーマにオンラインシンポジウムを開催し、生産地の現状や地方で暮らす魅力について全国にライブ配信した。

###### ＜委員からの主な意見＞

- ・ジビエ体験ツアーやオンラインシンポジウムに参加された猟師の方が、今後も情報発信の機会を持つことで、猟師に興味を持つ若い子が増えていくことに繋がる。

##### ②衛生、多様性、環境、健康分野を主とした社会課題解決に向けた取組に関する連携

###### ＜提案内容＞

- ・衛生、多様性、環境、健康など幅広い分野で連携を強めていきたい。

###### ＜対応方針案・対応結果＞

- ・県主催の環境問題意識啓発イベント「とっとりエコフォーラム」において、子ども向けeco活動啓

発の企業ブースを出展した。

＜委員からの主な意見＞

- ・特になし

③デジタル関連の人材育成・仕事供給・産業振興に向けた連携

＜提案内容＞

- ・デジタル関連の人材育成や仕事創出等で県と連携したい。

＜対応方針案・対応結果＞

- ・リモートワーカーを育成し、求職者や非正規労働者等の所得向上を目的とする県事業として、令和5年度県予算により事業化した。

＜委員からの主な意見＞

- ・このようなリモートワークを県として推進する取組を推し進めることにより、企業側もテレワークを推進しやすい環境となるので、引き続きこのような取組を進めてほしい。  
⇒リモートワークを含めた地元企業のデジタル化も推進していきたい。
- ・リモートワーカー育成における県の役割はどのようなものか。  
⇒県は人材育成のうち知識習得部分を予算の中で支援していく。実践形式のOJTはプログラムと合わせて業務を提供する民間企業にお願いするような役割分担を予定している。
- ・この事業を必要とする方にしっかりと情報を届けることも重要だと感じた。  
⇒コンソーシアムの設立などニュースに取り上げてもらうような仕掛けを考えている。また、関係課や関係機関との連携をとりながら必要な情報が行き届くようにしていきたい。

④「女性の就業意識アンケート」に関する連携

＜提案内容＞

- ・女性の就業意識に関するアンケートの実施に関して、県と連携を図りたい。

＜対応方針案・対応結果＞

- ・アンケート項目に県意見を反映させ、県内在住の女性を対象としたアンケートを実施。
- ・アンケート結果は個人情報を除いて県に共有され、県施策の参考とする。

＜委員からの主な意見＞

- ・自治体単独ではこのようなアンケートを中々取れないため、こうように協働で実施するというのはすごく良い取組と思った。最終的には県へアンケートの結果が提供されるが、県ではオープンデータにするのか。  
⇒属性がかなり限定的であり、提案者ともオープンデータにするという話はしていないので、現時点では県内部の参考資料として活用するものと考えている。
- ・本来の趣旨とは異なるためオープンデータ化は難しいと思うが、本会議において、アンケート結果は貴重なデータであり、できるだけ広範にわたって活用してほしいという意見が出ていることを担当課に伝えてほしい。  
⇒最終的にどうできるかということについては担当課の判断になると思うが、委員の皆様からの意見ということで、そこは記録し、担当課の方に改めて伝えさせていただく。
- ・アンケートデータを踏まえて、今後、企業が働く女性の昇級や育休・産休制度等の導入・拡充する際の補助金・助成金の支援等といったことに活用されると良いと感じた。  
⇒女性の管理職登用に関する経費の補助制度等や相談窓口の案内といったことが、今回の連携ではできなかったため、この連携を契機として制度や施策等の紹介ができるような取組みについても、引き続き検討したい。

(3) 断念の案件（1件）

①PFS（成果運動型民間委託契約方式）を活用した公共施設維持管理コストの削減支援

＜提案内容＞

- ・他自治体の事例や市場環境を踏まえた専門的な支援を行い、入札条件や仕様の見直しにより、最適価格・仕様での調達を実現することでコスト削減が可能。また、コスト削減額に報酬が連動する完全成果報酬方式であるため、新たな財政負担は発生しない。

＜対応方針案・対応結果＞

- ・コスト削減余地を確認する事前調査の結果を見てから、事業化を判断することで合意。

- ・コスト削減余地が小さく、県において新たな財政負担無しでの事業化ではなくなってしまったこと、また、コスト削減余地が小さい中で無理に入札条件を変更した場合、施設管理のサービスが低下してしまったり、不落札といったことが想定されること等から事業化を断念。

＜委員からの主な意見＞

- ・特になし

(4) その他

＜委員からの意見＞

- ・民間提案事業サポートデスクは、「自由提案型」と「県課題提示型」の2種類があったと思うが、今までの提案・相談は、全て「自由提案型」との理解で間違いないか。  
⇒その理解で間違いない。「県課題提示型」については、「宇宙産業」と「県有未利用財産の利活用」の2つを示していたが、現在までに提案・相談をいただいていない。もっと多様な課題を提示していくことが必要と感じており、来年度に各部局に対して、民間提案事業に関する理解を深めてもらうような、例えばセミナーのようなもの開催し、企業の皆さんに興味を持っていただきやすい、連携しやすいようなテーマを募集していきたいと考えている。
- ・県の少子高齢化、特に若者が大学で出て行って帰ってこないことが大きな課題・テーマではないかと思う。